

タオル・メッセージの回収期間

2019年5月6日(月)～

5月17日(金)まで

きれいなタオル
うれしいな～



生産者に

タオルを
届けよう!

私たちが飲む
牛乳づくりを支えるために



いつも
とても助かって
います!



※1枚からでもOKです



良質な生乳を
作るために、
たくさんのタオルが
必要です。



家で眠っている
タオルで
結構ですよ



未使用に限る /

あなたのタオルとメッセージをお待ちしています!

メッセージを贈る牛乳を○(マル)で囲んでください。



ご提出方法

メッセージ、所属センター名を記入し、本用紙
をタオルといっしょに返却の箱に入れて提出
してください。

ご利用の生協名【 】

センター名【 】

生産者へ【 】枚のタオルを贈ります

自由にご記入ください



(イラストも大歓迎です)



第34回 タオルを贈る運動



1985年からのべ**242万枚!**



組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、
生産者の「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という想いがつながり、

生まれたのが、低めの温度で殺菌するパルシステムの牛乳。

そんな牛乳づくりには、菌数の少ない良質な生乳が欠かせません。

生産現場では、清潔な環境を保つため、たくさんのタオルが必要になります。

そのことを知った組合員が「私たちにできることは？」と、

組合員同士で声を掛け合い、1985年にスタートしたのが「タオルを贈る運動」です。

去年はタオル58,972枚、メッセージ4,260通を産地に贈りました。

産地では

こんなふうに使っています



◀乳房を
ふいて清潔に
することで
生乳の菌数が
抑えられます



◀タオルは
洗って繰り返し
大切に使い、
1カ月くらいで
新しいタオルに
取り替えます



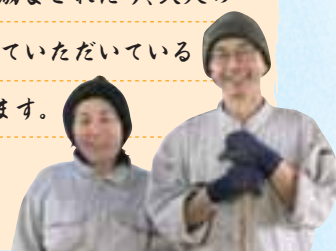
▲牛がびっくりしない
ように、ぬるま湯に浸した
タオルで乳房をふきます

生産者より

心のこもったタオルを
ありがとうございます!

組合員のみなさま、毎年心のこもったタオルをたく
さん贈っていただき本当にありがとうございます。
清潔な状態での搾乳作業に欠かせないのが、みなさ
まから贈っていただいたタオルです。子牛のからだを
ふくことにも使わせてもらっています。メッセージを読
むと、なごんだり、がんばろうと励まされたり、大人の
方からお子様まで直筆で書いていただいている
のがなによりうれしいと感じます。

『酪農家の牛乳』
『酪農家の低脂肪牛乳』の生産者
嶋田治彦さん・早苗さん夫妻(埼玉県)



こんなタオルをお願いします



色

白がベスト

(牛の乳房などをふいている
ときに出血などがわかるため)
色柄物でも構いません
(作業用具などの清掃に使います)

大きさ

フェイスタオル
がベスト

バスタオル・
ボディタオルもOK

未使用

のし紙や袋は
そのまま
大丈夫

(未使用だとすぐにわかるため)



ハンドタオル

(小さすぎるため)



てぬぐい

(うすいため)



使用したタオルは
洗濯済みでも
ご遠慮ください



同時配付の『産直通信』もご覧ください。牛乳の産直産地の声、『こんせん72 牛乳』の生産者を訪ねる
「産地へ行こう。」ツアーの案内も掲載しています。

